

料以外に 岩石 鉱物 化石約15万点の標本が集積されて当所の一般収集品となっている。これらのコレクションは分類学 地域 層序等による分類で配列され産地 層序および特殊の項目にしたがって目録に作られている。このコレクションのおもな目的は 当所々員に野外・室内作業に当って比較 参照の材料を提供するにある。同時に一般の地質に対する興味を刺激し 高校生やキブツの人々などがよく訪れる。

c 学術記録保管室

当所作業のはじめ9年間にばく大な量の地質資料が集まりこれらを整理して将来の仕事のため利用できるようにする必要が生じ 2年前当室が設けられた。層序学的決定 化学分析 岩石分析 岩石-鉱物の処理 地図類 断面図類等は整理のうえ 目録に作られる。また所内限りの報告書はすべて当室でみることができ

d 製図課 当課の仕事は

a) 当所各部のための各種図面の作成(製図員を有する石油部

を除く)

b) 青写真 地図のストック 航空写真などの保管室の管理である

製図係は地質技師のだしてくるスケッチや資料に基づき地質図 断面図および図表を作成する。航空写真から地形図を編集 製図し必要な縮尺の適当な地形図がない地域につき基本図として役立たせる 1949年以降当課の作成した各種図面は約2,200 現在当課の記録保管室には数千の青写真3,500枚以上の公開地図および約4,000枚の航空写真を保存し目録も作っている。

〔出版〕

当所の主目的の一つは すべての関係ある方面にこの国の天然資源の探査・開発および保全に必要な情報を提供するにあるので その成果は“Bulletin of G.S.I.”あるいは内外の定期刊行物に逐次公表してきている。Bulletin の編集は所長を委員長とし 石油部長 古生物學部長 次長兼水理地質部長を委員 管理補佐官を秘書とする編集委員会によって行なわれる。

(筆者は地質相談所 現在バンコックE.C.A.F.E事務局勤務中)



回にわたる隆起 沈降によって作られた海食台地として知られており その大部分はかんぼく林でおおわれており その間に志摩地方特有の文化 景観をみることができます。これに加えて 海岸線はリアス式の屈曲に富んでおり 鳥羽 的矢英虞 五カ所の等有名な入

伊勢志摩国立公園

堀内 恵彦

紀伊半島の東端にあって 行政区分的には三重県南端に位して 旧伊勢 志摩の二国にまたがる地域で 地学的には古生代 中生代および第三紀層に属する水成岩からなっており 海岸 島嶼の変化に富んだ海洋公園です。

伊勢神宮はわが国皇室の祖先である天照大神を祭る皇大神宮(内宮)と産業の神である豊受大神を祭る豊受大神宮(外宮)とからなっており むかしから国民の尊敬があつく 参拝者が絶えません。しかし 神宮宮城および近辺の景観は神宮参拝者のみならず 一般の人々にも印象の深いもので 外人観光客などにも人気があります。伊勢志摩の国境にある朝熊山は本地区内での最高峰(478m)で 頂上からは鳥羽湾をはじめ四方の展望がよく人々にぎわいます。志摩地方はその大部分が第三紀層で数

江がありまた熊野灘にのぞむ南志摩海岸および鳥羽海岸付近には大小多くの島が点在しており 景色の優れていることとともに船遊びにも適しています。また志摩地方は真珠の養殖地としても世界的に有名で 海女の作業とともに重要な観光源となっています。観光を目的とする行楽には伊勢神宮付近から二見ガ浦にいたる地域 鳥羽湾付近および先志摩地域の賢島 浜島 大王崎 和貝などを中心とした五カ所 波切付近などがあり とくに先志摩地区は1月でも温暖で 海岸にはハマユウをはじめ ミカンツパキなども多くあります。公園指定は昭和21年12月10日で面積約 520.36km² です。きたる3月15日に発行される第二次国定公園シリーズの切手は5円切手が参宮橋 10円切手が鳥羽湾風景です。昭和28年10月発行の第一次国定公園切手には二見ガ浦(5円)と波切海岸(10円)が描かれています。

(筆者は元所員 理科学技術情報センター)